

1. 第三次千曲市総合計画 基本計画「成果指標」

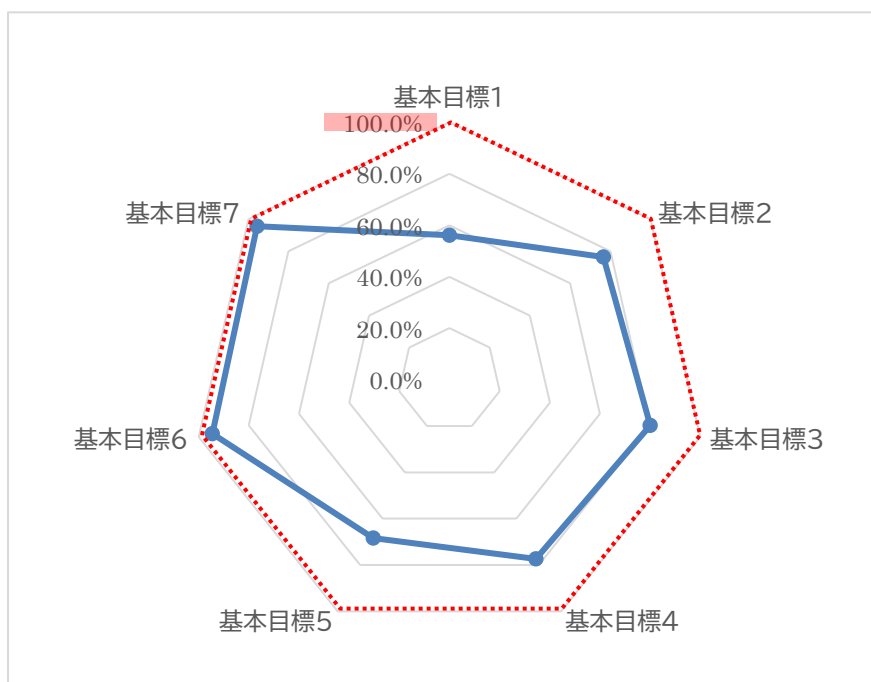
第三次千曲市総合計画(令和4～8年度)では、まちづくりの達成状況を測る「ものさし」として、31の達成方針(分野)ごとに「121の成果指標」を設定しています。

毎年度の「政策評価」において、指標の達成状況を見ながら政策の展開状況を振り返り、「総合評価」としています。

「施策評価・総合評価」の結果等は、翌年度への改善に向けて取り組めるよう、実施計画や予算編成に反映し、「行政評価結果」としてまとめ公表します。

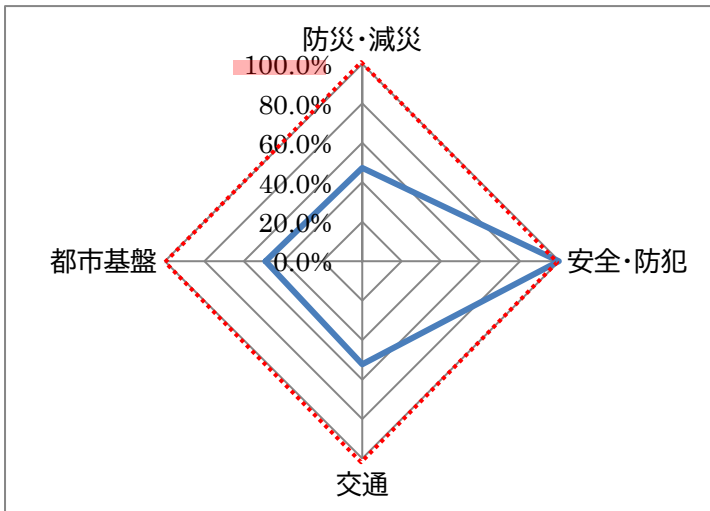


■ 基本目標1～7の平均達成率レーダーチャート（基本目標ごと）



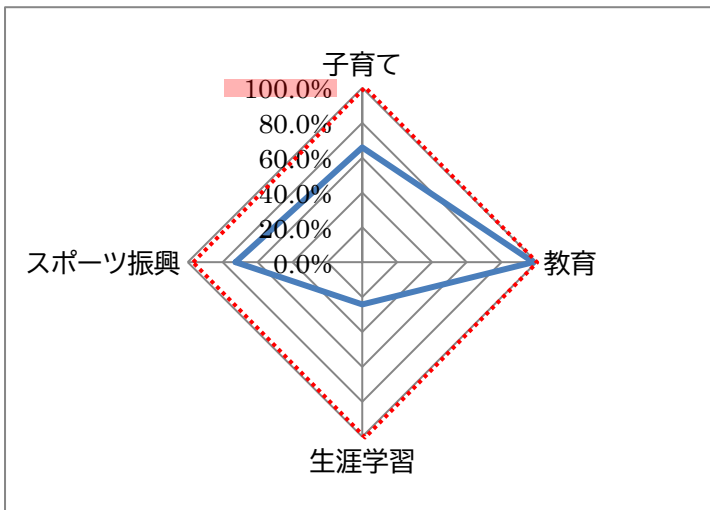
	平均達成率
	R4
基本目標1	56.1%
基本目標2	76.5%
基本目標3	80.1%
基本目標4	77.3%
基本目標5	68.3%
基本目標6	94.5%
基本目標7	95.6%
平均	78.4%

○基本目標1 災害に強く、安全で安心な暮らしができるまち



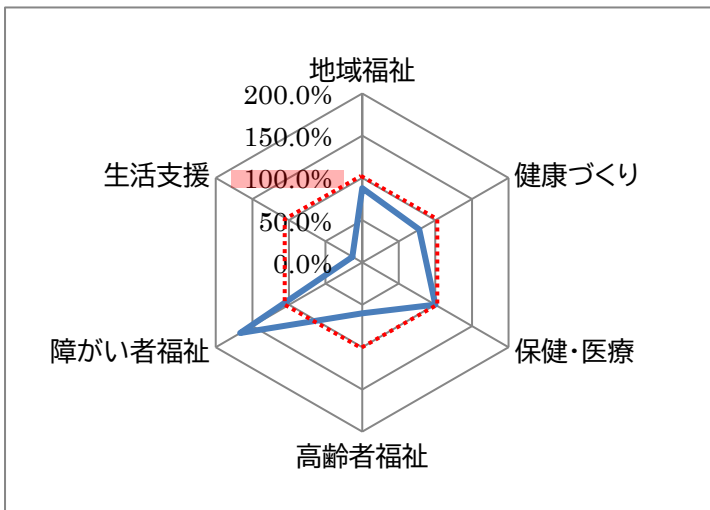
分野の平均達成率は56.1%。
【防災・減災】は『民間企業等との防災協定件数』が目標値を上回った。その他一部指標は累計値を目標と設定しており、達成率にばらつきがある。
【安全・防犯】は各指標の数値が改善され、概ね100%の達成率となった。
【交通】及び**【都市基盤】**については指標毎に達成率にばらつきが生じているほか、『大循環線の運行便あたりの利用者数』、『姨捨ICの1日の平均利用台数』がやや減少傾向にある。

○基本目標2 千曲っ子が元気に育つ、生涯学びのまち



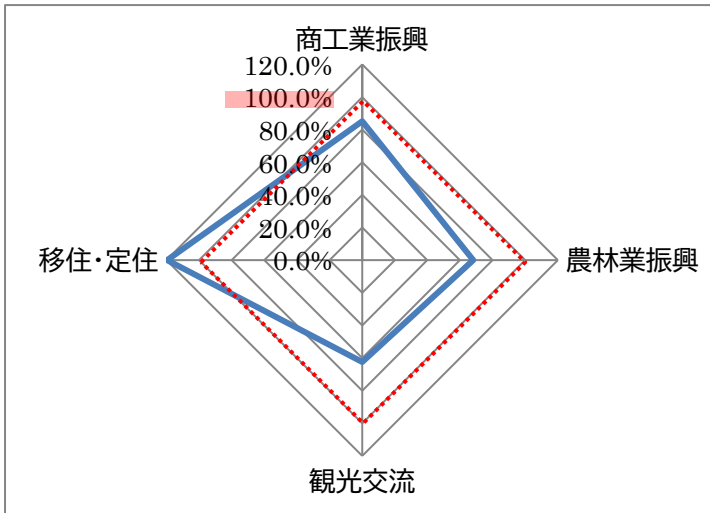
分野の平均達成率は76.5%。
【子育て】では『合計特殊出生率』が目標を上回った。同率の上昇は少子化対策の重要な課題であり、今後も継続的な取り組みが必要となる。
【教育】では、全ての指標において8割以上の達成率となっている。
【生涯学習】では、生涯学習人材バンクの新規登録がなかったことが、達成率を押し下げた。
 コロナ禍の影響により、各分野における、参加者数等を目標とする指標の達成率は伸び悩んだ。

○基本目標3 支え合い、かかわり合い、誰もが健康で活躍するまち



分野の平均達成率は80.1%。
【健康づくり】では、『特定検診保健指導率』が暫定値であるが、『特定検診受診率』等数値が上昇及び改善された指標については、市の着実な取り組みが結果に結びついていると思われる。
【障がい者福祉】では、目標値を大きく上回った。
【生活支援】は5年間の累積で目標値を設定している為直ちに達成率を低く見ることはできないが、対象者が抱える問題の複雑化や多様化に対し、様々な支援方法を模索していく必要がある。

○基本目標4 千曲の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち



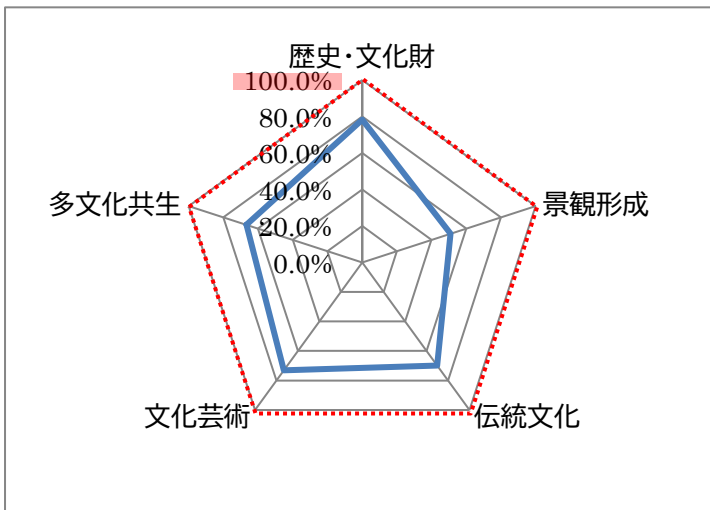
分野の平均達成率は77.3%。

【**農林業振興**】では、ワイナリーの新設にあわせて『ワイン用ぶどう栽培面積』が順調に拡大した。

【**商工業振興**】【**観光交流**】においても、概ね堅調に達成率を伸ばしている。

【**移住・定住**】では、目標値を大きく上回る社会増を達成した。長野市に比べ土地代が安く、子育て世帯に千曲市が選ばれていることが大きな理由として挙げられるが、今後もその強みを伸ばしていくことが必要である。

○基本目標5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち

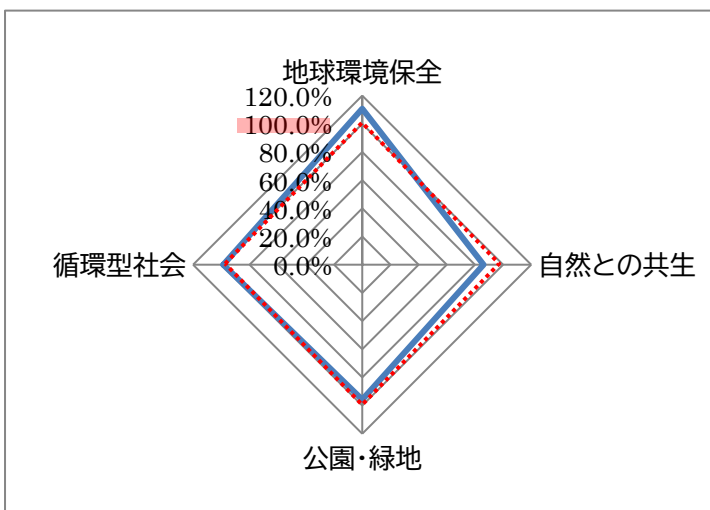


分野全体の達成率は68.3%。

【**歴史・文化財**】では、『博物館・史跡公園の入館（場）者数』において、コロナ禍においても目標値に迫る好調な達成率となった。

【**文化芸術**】では、参加者数や利用者数を目標とする指標では、コロナ禍前の水準まで回復するには至っていない。しかし、各文化会館等において積極的に自主事業に取り組み、目標値を超える多くの自主事業を実施した。

○基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

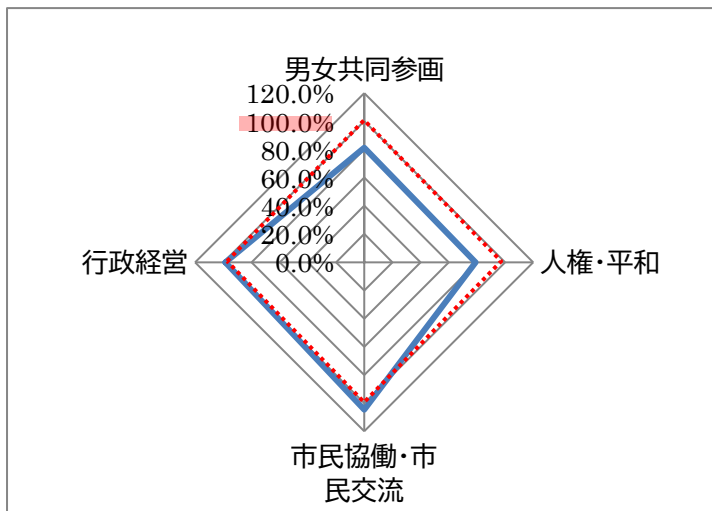


分野全体の達成率は94.5%。

分野内の全ての指標において達成率が7割を超えているほか、ほぼ全ての指標において数値が上昇または改善しており、目標達成に向けて順調な進捗がみられる。

前回の総合計画から安定した達成率で推移しており、今後も着実に取り組んでいく必要がある。

○基本目標7 一人ひとりが輝く、協働で創るまち



分野全体の達成率は95.6%。

【市民協働・市民交流】では、『協働事業提案制度』の申請が増加し、実績は目標値の倍以上となるなど、同制度が定着してきたといえる。

【行政経営】の『ながの電子申請』においても目標値を大きく超える実績があり、市の取組みの成果と市民ニーズの高さが伺える。

その他の指標においても、概ね堅調に推移しているといえる。

■ 行政評価等外部委員会からの政策評価に対する意見等

■ 政策評価等

・転入・転出を表す社会増減数は、令和3年から2年連続で倍増しており、令和4年の出生数も前年比35人増加しているという結果から、千曲市が住みやすいまちとして認知されていると捉えることが出来、高く評価します。

→ ありがとうございます。市の近年の社会増の主な要因として、「子を持つ世帯の転入増加」が挙げられます。これは、長野市南部など近隣地域と比べて土地が安い家建てやすい、長野市など近隣へのアクセスが良く通勤しやすい、等の理由が推測されます。

また、移住・定住や子育て支援をはじめ、千曲市を選んでもらうための様々な施策も着実に成果を挙げていると思います。今後もこうした市の特徴や強みをさらに伸ばし、社会増を維持し人口減少対策に取り組んでまいります。

・転入が増えているのは、新駅（千曲駅）が出来て周辺の宅地造成などがかなり進んだ影響が大きいのでしょうか。

→ どちらかという、市道千曲線の影響が大きいと感じます。確かに駅周辺にも造成がありますが、人口が一番増えているエリアを見ると、埴生や内川の千曲線沿線が増えているように思われますので、千曲線の開通が一番影響しているのではないかと分析しています。

・アパート等も増えているのですか。

→ アパート等も増えてきています。

今後雨宮産業団地に企業が進出しますので、また転入が増えることを期待しています。市は移住施策も考えていかなければいけないことから、現在庁内で連携しながら検討を行っております。

・【目標値設定】→ 設定が元より低いもの→ {・数字設定の根拠？ ・前例踏襲なのか？} 達成率が100%超えのものほど、目標値設定が低いものが多いと感じます。

→ 各成果指標及び目標値につきましては、第2次千曲市総合計画の検証を踏まえ事業担当課にて作成し、審議会専門部会等における審議を重ねて設定したものです。

したがって、目標値を低く設定したということはありませんが、当時はコロナ禍で先行きが不透明であったことが、目標設定に影響している部分もあると思われます。

・KPIで表す数値は、目標値達成の為に行動計画数、行動実施回数を分かり易く数値で表すものと理解していますが、目標値は設定されているのですが、その目標値を達成するために、年度内に何を、何回行うのかの具体的な活動計画、実施回数等はどの数値を確認すれば宜しいのでしょうか。

→ ご指摘のとおり、KPI (key performance indicator : 重要業績評価指標) は目標達成に向けた施策ごとの進捗状況を測定し、過程を計測する中間指標です。そして、ここでの目標は「千曲市の将来像（及びそのための基本目標や達成方針）」であり、その目標に向けてそれぞれのKPI (成果指標) を設定しております。

なお、KPI内で設定されている目標値は、より一層KPIを推進するために設定しているものです。

・実績値が「令和4年度」の他に、「令和4年」とか「令和4年度末」とか、「令和4年度途中経過」の記載があります。本政策評価表は、令和4年度に対する評価表なので「令和4年度」に統一すべ

きではないですか。特に「令和4年度途中経過」の実績では、評価に値しないと思います。

→ ご指摘を受け改めて確認いたしましたところ、一部指標において表記を統一することが望ましい指標が判明いたしましたので、今後修正を行います。

一方で、一部の指標については現状の表記が適切でございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(例)

【特定健診保健指導率】 → 「令和4年度途中経過」

(理由) 初回指導実施後に、一定期間を置いて保健指導を行う必要があり、新年度に跨って保健指導を行った場合も新年度9月末までの指導は旧年度事業として算定しており、本指標作成時点では実績を確定できないため。(全国統一基準による)

(例) 令和5年3月に初回指導(令和4年度実績として算定)

令和5年6月に2度目の指導(〃)

・上記については理解できますが、成果指標の実績値時点について、「令和4年」「令和4年度末」など、異なる時点が記載されていますが、なぜ統一されていないのですか。普通は統一するものだと思います。

→ 本来であれば統一することが望ましいですが、実績値によっては理由があっても異なってしまうものがあります。

例えば、自殺死亡率の実績値は国のデータを用いているが、元となる国のデータの時点設定が「令和4年」であるため、本市の実績値時点も「令和4年」と設定しています。このように、それぞれの実績値に理由があるため、「令和4年」「令和4年度」「令和4年度末」などの違いが生じています。

・目標毎にチャートの数値(枠の作り方)が異なり見づらと思います。100%部分に色を付ける等したら見やすいと思います。

→ ご指摘のとおり基本目標毎にグラフの項目数及び最大値が異なることから、統一感が無く見づらい印象がございます。着色など、より見やすくするための検討を行います。

・達成率について、もう少し踏み込んだ考察が欲しいと思います。

→ 各基本目標を一目で見ることを出来るようにすることを重視したため、スペースの都合上、考察の記載スペースが限られてしまいました。次年度以降、レイアウトの見直しを検討いたします。

・基本目標2・3・4などの生涯学習・高齢者福祉・観光交流などについては、今後期待します。他については評価します。

→ 基本目標全体の達成率を押し下げている指標が、参加・交流型の事業が多いことから、未だに少なからず新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているものと思います。

今後は、ウィズコロナ・アフターコロナによる市民・事業者の意識や活動の変化も踏まえながら、事業に取り組んでまいります。

・見やすい、わかりやすいです。

→ ありがとうございます。今後も見やすい、わかりやすい資料作りを心掛けてまいります。

■基本目標 1

○目標全体

- ・目標達成率 56.1%と総体的に成果があがっていないことから、令和 5 年度以降は改善策を講じる必要と考えます。
- 基本目標全体の達成率を押し下げている指標について、実績が伸び悩んでいる指標については改善に向けて取り組んでまいります。
- 一方で、目標値を令和 8 年度までの累計としている指標も多いことから、令和 8 年度に向けて目標を達成できるよう、事業を実施してまいります。

○地区防災計画の策定件数

- ・達成率 20%は想定通りでしょうか。もし想定より低い場合、何かしらのテコ入れが必要と思います。例えば、個別指導をするとか。
- 各地区で策定が進んでいないのが実情です。
- 本年度、計画策定について、再度説明とお願いをしたところ、いくつかの地区で策定に向けた検討が進められています。
- 今後は、策定が更に進められるよう、地区が抱える課題等をお聞きしながら、必要な支援策を検討します。

○民間団体等との防災協定件数

- ・昨年も提案しましたが、全市に点在しているコンビニとも防災協定を結んだらどうでしょうか。コンビニには、駐車場、トイレ、食料が揃っていますし、避難の分散化（避難先での被災リスクの低減化）もできると思います。
- コンビニは災害時でも営業しており、様々な課題がありますが、今後も、コンビニを含め、各種企業との協定締結に向け協議を進めます。

○自転車の日常利用路線の整備延長

- ・達成率も重要ですが、道路側や歩道側にはみ出している雑草が、昨今の高温化で多々見受けられます。通行の邪魔や安全確認の障害になっています。また、街路樹の脇枝が伸びて見通しを悪くしています。この点も考慮して整備延長を進めてください。
- 幹線道路につきましては、安全確保を図るために街路樹の伐採などを実施しているところではありますが、周辺住民参加の協働事業も方法の一つとして、維持管理の在り方も併せて検討してまいります。

○長野電鉄屋代線跡地の整備延長

- ・達成率 0%(進捗なし)ですが、今後の方針、対策を教えてください。
- 初めに、目標値を 940mから 950mへ修正をいたします。これは目標値を設定したのちに、詳細な測量を行った結果、修正をするものです。
- 整備延長 950mの内、518mについては、令和 4 年度に工事着手をし、令和 5 年 9 月に完了・供用開始をしております。整備の方針としては、整備延長 950mを区間ごと区切り、年度毎、順に工事を行っております。
- 達成率については、令和 5 年度末には 54.5%となり、令和 6 年度末には 100%にすることを目標としております。

○特定空家等件数

・実績値把握方法が、取壊しなどにより確認としていますが、取壊さなければ、実績値にカウントされないのでしょうか。指標選定の考え方が実績値ではないのですか。また、特定空家以外(劣化が進み将来倒壊の可能性あり)の空家(特定空家の予備軍)は、どの程度あるのでしょうか。

→ 協議会を経て認定された特定空家等 5 件のうち 1 件が取壊しにより倒壊の恐れが無くなりました。実績値は残る 4 件を示しています。目標値は特定空家等が 0 件となることとしています。当該 5 件は倒壊の恐れのある空き家のため取壊しなどによる確認としています。耐震化および内外装改修による解消も可能性としてはありますので、取壊し“など”としています。

特定空家等予備軍について、令和 3 年度空き家実態調査により把握している件数は 42 件です。

■基本目標 2

○合計特殊出生率

・目標を上回ったというが、理由についてはもっと、精査する必要があると思います。

→ 目標値を上回った理由については、明確に把握できておりません。合計特殊出生率の算出にあたっては、単純に年度毎に同じ対象で比較できるものではなく、転入・転出や対象年齢層の異動の影響も受けるため、慎重に分析・判断する必要があります。

一方で、本市の合計特殊出生率（ベイズ推定値）は県内 19 市中最も低く、市の最重要課題のひとつです。市では、昨年度から人口減少対策について全庁的な検討会議を実施し、各種調査や課題の抽出、原因の分析を行っており、今後も合計特殊出生率の改善に向けて取り組んでまいります。

○子どもの居場所づくり支援事業実施団体数

・目標値に対して、今後も団体は増える見込みでしょうか。また今後、人手不足、エネルギーや原材料高騰等を理由に運営困難になり事業撤退となった団体があった場合、実績値や達成率は、どのように算出しますか。

→ こどもの居場所づくり実施団体数は増加を見込んでいます。

事業を撤退する団体があった場合も、実績値は指標を実施団体数、達成率は目標団体数に対する実施団体の割合で算出いたします。

○ファミリーサポート事業提供会員数（両方会員含む）

・今後、登録している人数を増やす為の方策を教えてください。

→ 提供会員募集・講習会についてはチラシ・市報・ホームページで行っています。

今後は、子育て応援アプリを活用しいっそう周知を図ってまいります。

○ファミリーサポート事業実行率

・実績値が 100%にならない理由や原因について、分析や今後の対策の検討をしていますか。本来、100%があるべき姿と思います。

→ 理由等については分析しております。当日等の急な依頼に、どうしても対応できないケースがあったことで 100%には至りませんでした。しかし、提供会員さんの協力により、依頼に対し、99.6%の対応がとれていることは、サービスの提供率としては決して低くはないと捉えております。

依頼については、依頼会員・提供会員の相性や・日時等のマッチングを適切に行い、支援に繋がっています。今後も引き続き事業達成率 100%を目指し、取り組みをしてまいります。

○子育て相談件数（子育て支援センター）

・実績値と達成率の数値を見てどのように感じましたか。「相談件数が少ない」イコール「何も問題がない。OK」、「相談件数が少ない」イコール「実は相談ができない、知らなかった」。どちらでしょうか。

また、実績値に対して相談に対して解決できた件数、解決できなかった件数、が気になります。

→ 4年度の相談件数は、感染症対策として、利用人数を設定し予約制としたため、利用人数の減少があったことが理由の一つと捉えています。相談件数が少ない=OKとは考えておりません。

なお、子育て支援センターには、利用者支援専門員の保育士を配置しており、身近な相談場所としての周知をはかっており、利用者の気軽な相談場所として兄弟げんかや、育児に関する相談等さまざまな母親の悩みに寄り添う相談支援を実施しています。

○子育て支援センター利用者満足度

・民間で言うところの顧客満足度のことと思いますが、目標値が90%では低いです。残りの10%が非常に重要で、ここをきちんと対策、改善しないと、満足度は年々下がっていきます。よって、目標値は100%であるべきです。90%で満足してはいけません。

実績値がないのは、令和4年は、実施していないためですか。

→ 実績値がないのは、お見込みのとおり満足度に特化したアンケートを実施していないためです。

今後は、定期的にアンケートを実施し、保護者の希望や意向を把握し、満足度が100%に近いものになるよう子育て支援センターの運営に取り組んでまいります。

○保育園の耐震化率

・データが件数ではなくパーセント表示だと解りにくく誤解を生みやすいと思います。年度またぎ工事や耐震化工事中の保育園は、耐震化未完了であると思います。つまり工事完了イコール耐震化完了です。

私立の幼稚園や認定保育園等の耐震化率はどの程度でしょうか。市管轄外の各種園ですが、心配になります。

→ 令和5年3月31日現在、耐震強度を満たしている公立保育園は11園中7園（耐震化率約63%）、私立幼稚園・認可保育所は7園中5園（耐震化率約71%）です。

○乳幼児健康診査受診率

・実績値が100%にならない理由は何でしょうか。コロナ感染で受診出来なかったせいでしょうか。それとも何らかの理由で受診しなかった、受診できなかった？残りの1.4%に対してのフォローは、どうしていますか。

→ 疾病等により病院などで定期的にフォローされている児のため、乳幼児健康診査を受診しない方や、海外にいる方が受診しておりません。また、保護者が健康診査を希望されない方も未受診者となります。

フォローにつきましては、保護者に連絡し、児の状況や育児等について状況把握すると共に、必要時、個別にて相談を実施しています。また、医療機関や関係機関と連携しながら支援を行っています。

○赤ちゃん訪問（4か月未満児）実施率

・実績値が100%にならない理由は何でしょうか。残りの1.3%に対してのフォローは、どうしてい

ますか。

→ 疾病や低出生体重児による医療機関入院のため、4か月未満で訪問等を行うことができない方や、コロナ感染の心配により拒否される方が未実施者となります。

保護者には連絡し、児の状況や育児等について状況把握すると共に、医療機関や関係機関と連携しながら支援を行っています。

○高学年児童の受入れ施設数

・目標値に対して、今後も施設は増える、もしくは増やすことを見込んでいますか。もし今後、予算や人手不足等を理由に施設運営が困難になり閉鎖した施設があった場合、実績値や達成率は、どのように算出しますか。

→ 利用児童数が増加傾向である1クラブを優先的に、教育委員会及び学校の協力を得ながら、学校施設の活用など協議を進めています。

児童の健全な育成及び放課後の安心安全の場所を維持するために、今後も現在の施設数の確保及び運営の継続が最重要であることから閉鎖することのないよう取り組んでまいります。

○家で、自分で計画を立てて勉強している

・小、中学校共に、実績値が100%にならない理由や原因はなんのでしょうか。特に中学生が60%台で低すぎると思います。調査票に書かれている文言が解りませんが、最低でも宿題をするので、数値はもっと高いと思いましたが。

→ 全国学力学習状況調査の、「家で、自分で計画を立てて勉強していますか。」という設問に対する回答状況を掲載しました。

中学生については、「自分で計画を立てた勉強」に「宿題」含めていない生徒が多いのではないかと考えられます。

○自分にはよいところがある

・実績値がまだまだ低いと感じました。小、中学生共に自分のよさを発見する機会等を増やしてください。特に小学生の内に自己嫌悪に陥らないよう丁寧な教育、指導(例えば、友だち同士のハラスメントの撲滅とか)が必要と思います。無論、家庭内でもそうですが。

→ 全国学力学習状況調査結果を各学校と共有し、「自己有用感」を持たせられるよう、今後の指導内容に活かしていきたいと思います。

○将来の夢や目標を持っている

・実績値をみる限り、今の子ども達は、夢も希望もないのでしょうか。特に思春期の中学生の数値が悪いです。何が原因でしょうか。個人的には、親や周りの大人にも問題があると考えます。例えば昭和の感覚や昭和の常識で説教をすれば、今の子ども達は「ハア？」となり、嫌になってくるのではと思いました。

→ 全国数値と比較して特段低いわけではありませんが、キャリア教育等を展開し、より自分の将来について意識する機会を創出していきたいと思います。

○学校に行くのは楽しい

・小、中学生共に100%になっていませんが、この理由や原因について、深掘したほうがよいです。いじめとか、ただ何となく楽しくないとか、学校まで遠すぎるとか、いろいろな理由があると思

ます。悪化して登校拒否や、登校できない児童、生徒が増えないためにも。

→ 各学校で行っているアンケート調査の内容も分析して対応策を検討します。

○公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数

実績値が令和5年度になっています。令和4年度の間違いでしょうか。

→ 令和4年度の誤りです。お詫びして訂正いたします。

○公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数、「生涯学習人材バンク」新規登録人数

・生涯学習のための講師人材登録者数、現在の状況、様子を知りたいと思いました。

→ 登録者は個人が11人、団体が7団体です。令和5年度に新規登録の問い合わせが2件ありましたが、登録にはいたっておりません。

■基本目標3

○無医地域での出張診療回数

・無医地区での出張診療回数：実績値12回とは、月1回の12か月ことでしょうか。また、診療回数12回が適切な回数なのか解りませんので、ご説明をお願いします。

→ 毎月1回の実施で、年間12回となります。1回あたり3~4名の診療と数名の往診、インフルエンザの予防接種等行っており、救急患者以外の定期的な診療は概ね確保できていると考えております。

○夜間初期救急医療施設

・確認ですが、3か所全て千曲市内の医療施設でしょうか。

→ 千曲市民の夜間における救急診療確保のため、市内の千曲中央病院、市外では近隣の篠ノ井総合病院と松代総合病院の3か所に協力医療機関として診療していただいております。

○生活保護受給者等の就労自立促進事業における就職達成者数

・生活支援は、様々な支援方法を模索していく必要があるとあり、来年度の評価でも注意して見ていくべき所ではないかと感じています。

→ 就労等により生活保護の廃止、自立に至ったケースは2人と数値は高くありませんが、稼働年齢の被保護者には就労の可否を専門医に依頼し、就労可能者には就労支援員により月2回の面接等を実施し、支援者の希望・適性等を見極め、正社員登用に向けた適材適所の就労支援を行っております。

しかし、支援者は持病等をお持ちの方も多く、パート・アルバイト雇用が中心となり、収入安定による保護廃止に至るケースは少ない状況です。

就労支援員は事業主と相談し徐々に勤務時間を増加し収入増を図る、同様の職種で正社員雇用の求人が無いかハローワークと連携し対応する等、被保護者の状況、傷病、精神状態も考慮しながら個人に合わせた支援策を模索しております。

さらに、就労に至った支援者には、自立（就労・保護廃止）後も収入が安定するまで精神的なケアも継続実施しており、引き続き個人に即した様々な支援策を模索し実施してまいります。

■基本目標4

○長野県SDGs企業の登録数

・数値は千曲市としての数でしょうか。長野県全体の登録数として見てしまうのですが。また千曲市役所のような行政機関は登録できないのですか。

→ 千曲市としての数字であり、直近（令和5年7月末）の千曲市の登録事業者数は69社です。なお、行政機関の登録はできません。

○職場いきいきアドバンスカンパニーの登録数

・数値は千曲市としての数でしょうか。長野県全体の登録数として見てしまうのですが。また千曲市役所のような行政機関は登録できないのですか。行政機関も働き方を意識する時代と思います。

→ 千曲市としての数字であり、直近（随時登録）の千曲市の登録事業者数は9社です。なお、行政機関の登録はできません。

○防災重点農業用ため池の耐震性調査箇所（累計）

・素人ですみませんが、耐震調査は時間が掛かるのでしょうか。災害は待つてはくれません。実績値（1年間）がたった4件では、進捗が悪いと感じてしまいます。

→ ため池の耐震調査は年間を通じて調査を実施していることから時間がかかります。また、調査は県で防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画により進めていることから市独自で調査ペースを上げることは難しい状況です。

しかしながら、災害は待つてくれないことから調査ペースを上げてもらえるよう県へ要望し耐震調査を早期に完了いたします。

○ワイン用ぶどう栽培面積

・ワインブドウの栽培面積が順調に拡大しているとは思えません。

→ 栽培箇所が比較的目立たない場所で、かつ、分散していることから、増えている印象がないかと思われませんが、ワインブドウの栽培面積は、毎年増加しております。

○遊休農地面積

・数値的には遊休農地が減っていますが、どのような理由でしょうか。

→ 遊休荒廃農地解消の補助金を活用いただき、最近では、既存の果樹に加え、ワインブドウやヘーゼルナッツを植えられる方が増えております。

数値的に遊休農地が減っているのは、遊休農地のうち、山林化するなどして耕作に適さない農地を、数値より除外していることが、大きな要因かと思われます。

○私有林の現況調査（累計）

・指標の意味・内容欄の「健全な森林への把握状況を表す」とは、倒木撤去や間伐された森林を示しているのでしょうか。倒木撤去や間伐の費用は、個人負担でしょうか。

→ 令和3年度から運用を開始している「森林経営管理制度」の調査区域の面積を示しています。市内を15期に区分し調査区域を減災防災の観点から手入れがされていないと思われる人工林（ヒノキ・カラマツ・スギ）の整備の必要性の有無を調査するものです。

なお、手入れが必要と判断された森林を集約して、間伐や広葉樹林化を図るため森林環境譲与税を活用し、個人負担無しで森林整備を進めるものです。

○市有林森林経営計画に基づく間伐等の面積

・参考までにお聞きしますが、間伐材は何かしら再利用されていますか。

→ 木材の搬出ができる箇所については製材用材として市場や木質燃料としてバイオマス発電所に搬入して市の収入にしております。

○訪日外国人宿泊者数

・オーバーツーリズム問題がニュースとなっています。ニュースの中で、ゴミ不法投棄や、公共交通機関に乗れない等、地元民が大変迷惑しています。千曲市としての考え方や見解を聞かせてください。

→ 現時点におきまして、本市では、オーバーツーリズム問題が恒常的に発生している箇所はないと見ています。

しかし、インバウンド等とは全く関係ありませんが、ほとんどの皆様は公共のマナーを心がけた行動をいただいているのですが、極めて一部と思われる中にイベント開催時などでのごみの投げ捨て（かつてに比べ少なくなっただと感じていますが）や、公衆トイレの使用などについても、気持ちよく使えない、稀に、使用に耐えられない、実際に使用できない状況も見ています。

故意ではなく、やむを得ない事情による可能性もあり、一概に言えないのですが、みんなが使う場所という意識やマナーを持っていただきたいと感じる時があります。（マナーを守っていただく趣旨の貼紙などで対応しています。）

○社会増減

・目標を上回ったというが、理由についてはもっと、精査する必要があると思います。

→ 市の近年の社会増の主な要因として、子を持つ世帯の転入増加が挙げられます。これは、長野市南部など近隣地域と比べて土地が安い家建てやすい、長野市など近隣へのアクセスが良く通勤しやすい、等の理由が推測されます。

また、移住・定住や子育て支援をはじめ、千曲市を選んでもらうための様々な施策も着実に成果を挙げていると思います。今後もこうした市の特徴や強みをさらに伸ばし、社会増を維持し人口減少対策に取り組んでまいります。

■基本目標 5

○千曲市食の文化祭入場者数

・結果論になりますが、入場者数があまりにも少ないです。かかった経費もばかにならないと思います。コロナのせいもありますが、難しいとは思いますが、実施有無の検討(リスクも含み)が甘かったのではないのでしょうか。民間ですと、赤字が発生した場合、どのように損失額を回収するかが命題となります。

→ 基準値データ年度は平成30年度ですが、翌年度は開催時期に新型コロナウイルスの第1波が始まったため、令和元年度から令和3年度まで開催を中止しております。

令和4年度に関しましても当初中止の方向で検討しておりましたが、関係団体（かけはしの会）から、感染予防対策に万全を期し、「会員のみ」に限定して最小限で開催致しました。

■基本目標 6

○希少な動植物の年間保護活動件数

・実績の件数は、会議のみだったのでしょうか。実際に保護した動植物はありましたか。

→ 件数は活動回数です。例えば希少植物の保護活動で周辺草刈り及びモニタリング等を行っています。

○外来動植物等の年間駆除件数

・年々、アレチウリとか害獣が増えていると思います。達成率に満足せず今後も対応、対策をお願いします。ちなみに捕獲用わなの貸し出しはしていますか。

また、5年以上前の話ですが、自宅の庭で鳩の死骸を見つけたことを市役所へ連絡した際、処分に対して、ゴミ袋に入れて燃えるゴミの日に出すよう言われました。当時「マジかあ〜」とガッカリした経験があります。今もそうでしょうか。野生動物はどんな病原菌を持っているか解りませんし、ゴミの日まで保存すると腐敗が進みます。

→ 外来植物の駆除については、地道に今後も継続してまいります。

「わな」については、鳥獣保護法では免許のある者に限られているため、環境課での貸し出しは行っておりません。

ご自宅で生き物の死骸を見つけた際ですが、現在でも私有地の死骸は所有者の方に処分をお願いしております。

野生生物の処理にあたりましては、公道等において職員もそのように行っておりますが、マスクとディスプレイグローブで防護して行っていただければと思います。

ちくま環境エネルギーセンターに指定袋でなくても無料で搬入することが可能になっております。

・何度か鳩の死骸が庭に落ちたことありました。そのたびに市に連絡すると「私有地なので自分で処分してください」との回答でした。回答に記載されているマスクは理解できますが、ディスプレイグローブまで買わなければいけないのでしょうか。

近所でも同様の苦情があつて怒っている人もいて、市民からは何とかしてくださいとしか言えません。

→ こうした問題は今に始まったことではなく、昔からそのようなかたちでお願いをしてくれています。

私有地については市で対応しきれない状況です。それぞれ管理者がおり、例えば公園なら公園の管理者、道であれば県道なら県、国道なら国ということで、その場所を管理されている方に責任を持って対応していただいています。死骸だけでなく、例えば不法投棄であれば、基本的には敷地所有者の方にお願いをしています。

○動植物に配慮した河川の整備

・動植物に配慮した河川の整備：越水や水害等が発生しないように動植物配慮した河川整備を実施してください。雑草、雑木や流木だらけの河川では、水の流れが悪くなり災害が発生します。最悪、人を守るのか、動植物を守るのかの議論になってしまいますので。

→ 災害予防が優先と承知しております。

○ごみのリサイクル率

・スーパーや量販店でも回収をしています。数値に対して誤解される可能性もあります。スーパーや量販店での回収は除く等の補足を書いたらどうでしょうか。

→ 「ごみの再資源化に対する取組状況を表す（小売店等における店頭回収は含まず）」とさせていただきます。

■基本目標 7

○市の審議会等における女性の参画率、市民意識調査における設問「男女共同参画」の満足度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」の割合

・2つの指標名共、目標値の設定が低いと感じました。40%、30%の目標値に疑問を感じてしまいます。目標値の理由を教えてください。

→市の審議会等における女性の参画率については、千曲市男女共同参画計画審議会の答申を受けて策定された「第4次千曲市男女共同参画計画」において、目標値を40.0%としています。当市はこれを10.0%以上回る現状がありますので、計画期間内に目標値を達成できるよう参画率の向上に取り組み、次期計画の策定時には改めて目標値について検討してまいります。

また、市民意識調査における満足度の上昇には、市民個人の意識の定着や、地域・社会の変化が不可欠であると捉えており、劇的に上昇する数値ではないと考えております。そのため、満足度の目標値は30.0%としており、今後もセミナーの開催や啓発活動等により、男女共同参画意識の定着を積極的に推進してまいります。

○各地区において地区人権教育研修会が開催されている割合

・パーセント表記よりも実施区の数値が解りやすいと感じます。ただ指標が割合と記載されているのでパーセント表記となったと思いますが。

→お見込みのとおりです。本計画の策定時に検討の結果、パーセント表記としましたが、実施区の数値表記が解りやすいというご意見であれば、次期計画の策定時に実施区の数値表記への変更を検討してまいります。

○市民意識調査における設問「人権・平和」の重要度調査で「重要である」又は「やや重要である」の割合

・目標値を100%にしなかった理由はどうしてですか。また、実績値81.9%以外の18.1%の方が重要だと思えます。どのような理由でしょうか。無記名とか記入拒否とかでしょうか。

→市民意識調査における満足度の上昇には、市民個人の意識の定着や、地域・社会の変化が不可欠であると捉えており、劇的に上昇する数値ではないと考えております。そのため、満足度の目標値は85.0%としており、今後もセミナーの開催や啓発活動等により、「人権・平和」の市民の意識の醸成・定着を積極的に推進してまいります。

また実績値81.9%以外の18.1%につきましては、市民意識調査の回答割合から、無回答が2.6%、わからないが7.5%、あまり重要でない・重要でないが8.2%となっております。

○市民意識調査における設問「市民協働・市民交流」の満足度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」の割合

・目標値が低いと感じます。低い目標に対して、達成度が高くても、それで良いとは思えません。目標値25%にした理由をお聞かせください。

→指標設定時に「市民協働」が市民にどのくらい浸透しているかわからず、定量的に計れる指標がなかったため、まずは人口の1/4程度が妥当ではないかと考え25%といたしました。

○（仮称）地域づくり協議会の数

・なんとなく漠然とした指標ですが、例えばどのような組織を想定していますか。または望んでいますか。

→ 地域で活動する団体や各種委員を中心として構成される組織を想定していますが、地域住民個人による参加など、地域の自主性、主体性が生かされる組織となるよう、地域の実情や考え方に応じて柔軟に組織を構築する必要があると考えています。

○公共建築物の総量

・数字からの判断が難しいですね。目的は総量を減らすことだと思いますが、最終的な(目指す)総量は何㎡でしょうか。また 100 ㎡未満の施設はカウントされていないようですが、塵つもで、増加することはないのでしょうか。

→ 公共施設等総合管理計画の最終的な目標総量は 196,555 ㎡で、期間は 2044 年度までとなっております。

また 100 ㎡未満の施設は、ご指摘のとおり公共施設等総合管理計画ではカウントされておりません。

ただし施設の建設時には、予算査定の中で施設の利用目的や重複施設の有無等を充分精査するとともに、既存施設や不用施設の確認や除却についても並行して進めております。

○職員数

・毎回減らすことを目標にしていますが、最低限何名の職員で機能させることを想定しているのでしょうか。目標値の 466 名が最終到達点でしょうか。それとももっと減らそうと考えているのでしょうか。今後の千曲市人口の予想、税収、及び将来ビジョンを踏まえて明確にして欲しいです。ただ毎年採用しないと空白の年代が発生してしまい、これも将来的によくありません。また自然減だけを期待していてもだめだと思います。民間ですと業績が悪化すると、早期退職やリストラ、早期転職制度が発生します。

なお職員のやる気をそぐような、また夢も希望もないような状況にはしないようご注意ください。

余談ですが、コロナ過の時、他県の行政職員が大勢コロナ感染になり職員が足りなくなり行政機能がマヒするのではないかとニュース報道がありました。が結局、窓口業務含めて行政機能に影響はでないと発表されていました。これって逆に考えれば感染にかかっていない職員だけで十分に行政機能が廻るということで、現状の職員数が多すぎる、と感じてしまいます。市民に心配させないよう工夫して発表したとは思いますが。

→ 必要最小限の職員数で行政運営していくことは、どの自治体でも同じ考えだと思います。具体的に何名の職員で機能させていくのかというものではありませんが、職員数の目標値を 466 名からさらに減らすことは現状考えていません。

現在の職員数について言えば、コロナ禍でも行政機能は十分に回っているのではとのことですが、感染や家族の看護、受け皿を失った子供の養育等による休暇を取得せざるを得ない状況やその補填をしながらの通常業務に加えて、これまで行ったことのない業務が山積する中、多くの職員が時間外勤務、テレワークを取り入れながらなんとか乗り越えてきた状況、そして全国で益々頻発している大規模自然災害などの対応等鑑みると、決して職員数が多過ぎる状況にはないと考えます。

また、保育士、保健師においては、人材不足が全国的にも課題となっていることから、今後積極的な採用を予定しています。

あわせて、これから定年延長制度が始まること、そして DX 対応、令和 10 年開催の国民スポーツ大会事業、都市基盤整備等大型事業が控えていることを踏まえた人材確保等、一時的な職員数増も見込んでおりますが、委員のおっしゃるとおり、職員のやる気をそぐことなく、職員が最大限に手腕を発揮し、より良い市政運営につながるよう適正な人員配置に努めてまいります。

○オープンデータの充実、活用の推進

- ・オープンデータの内訳を教えてください。データの公開先も教えてください。

データの公開と書かれているので非常に気になりました。

→ データの公開先については、千曲市ホームページ「千曲市オープンデータ一覧」にオープンデータへのリンクを掲載しており、実際にデータが公開されている先は、千曲市をはじめ様々な自治体がオープンデータを公開している「LinkData.org (<http://ja.linkdata.org/>)」および公共交通に関する世界標準フォーマットである GTFS データを公開する「GTFS データリポジトリ (<https://gtfs-data.jp>)」となります。いずれもインターネット上で広く公開しており、公開先を指定または制限するものではありません。

公開データの内訳は、

【LinkData へ公開】

- ・地目別土地面積に関するもの・・・1件
- ・人口に関するもの・・・4件
- ・公共施設に関するもの・・・5件
- ・市民生活に関するもの・・・2件
- ・防災に関するもの・・・2件
- ・教育に関するもの・・・4件

【GTFS データリポジトリへ公開】

- ・循環バス情報・・・1件

となります。